

大学のまち・左京

「左京区 大学と地域の相互交流促進事業」

ニュースレター



第1号

発行日 平成21年11月24日

発行者 左京区役所区民部総務課

Tel 771-4235

Fax 771-6900

左京区は、6つの大学が集まっており、まさに「大学のまち・左京」です。

この特性を生かしたまちづくりを進めるため、左京区役所では、大学と地域との協働の取組に助成金の交付などの支援を行う「左京区 大学と地域の相互交流促進事業」を行っています。

この事業を、区民の皆さんや大学生・教職員の皆さんなどの多くの方に知っていただき、大学と地域との協働の取組をより促進するため、これから、ニュースレターを発行し、平成21年度の支援対象事業5事業についてお知らせしていきます。

平成21年度「左京区 大学と地域の相互交流促進事業」支援対象事業

事業名	団体名	実施時期
吉田剣鋒保存会と京都大学との相互交流促進事業	吉田剣鋒保存会	通年事業(剣鋒巡行は10月)
左京節分物語—豆まき起源伝承の発掘とマップ作成	京都精華大学人文学部真下研究室	9月～平成22年1月
自然と遊ぼう!7	京都ノートルダム女子大学心理学部・心理学研究科・心理臨床センター	11月
地元伝統資源の発見交流を通じた継続的な松ヶ崎周辺地域コミュニティづくり事業	松ヶ崎小学校学校運営協議会、松ヶ崎はっけん実行委員会(京都工芸繊維大学及び松ヶ崎小学校)、松ヶ崎小学校おやじの会	通年事業(報告会は12月)
古絵図にみる洛北地域の町並みと文化の再発見	京都造形芸術大学歴史遺産学科末松剛ゼミ	通年事業(発表会は3月)

第1号は、「**吉田剣鋒保存会と京都大学との相互交流促進事業**」です。

吉田剣鋒保存会は、昨年度に引き続き「左京区 大学と地域の相互交流促進事業」の支援対象となり、今年度も京都大学の教職員や学生と協働して今宮社神幸祭の剣鋒巡行を実施しました。

10月11日の神幸祭当日は、雲ひとつない晴天に恵まれました。

吉田剣鋒は、今宮社神幸祭で神輿の前を行く剣鋒です。

まず、剣鋒は、神輿の納まる拝殿の周りを「さい(幸)あれ」と唱える中、一周します。その後、巡行に加わります。

神輿は、剣鋒の最先端にある「まねき」と「鈴(れい)」により各氏子の家の玄関前に招かれ、各家の病魔を追放します。



今宮社から出発した行列は、勇壮な太鼓が響きわたる京都大学構内に入り、京都大学副学長、教職員、学生や地域の人たちの待つ中、時計台の前での剣鉾差しなどを披露しました。行列の剣鉾や神輿には京都大学の学生や教職員が数多く参加し、力強いものとなりました。その力強い姿に多くの方から大きな歓声があがりました。



子ども剣鉾の巡行

今年は、子ども用の剣鉾を含む2基の鉾を新調し、子ども剣鉾が初めて吉田学区を巡行しました。剣鉾はたいへん重く、長く持って歩くことは難しいことですが、子どもたちは最後までがんばりました。その姿に吉田地域の方々は大きな声援を送りました。

また、10月16日に行われた京都大学での中央キャンパス祭には、逆に吉田剣鉾が招かれ、剣鉾や和太鼓の演奏を行いました。



子ども剣鉾巡行の様子



京都大学中央キャンパス祭の様子

参加者の声

○京都大学教員 ティータ・トラウデンさん

昨年、京都大学と吉田地域との交流が始まってから参加しています。このように地域と交流していくことは良いことです。

今年から小学4年生の娘が参加しています。最初はずかしがっていましたが、今では私より上手になり、楽しく参加しています。



左：鈴木さん、右：トラウデンさん

○京都大学病院 鈴木崇生さん

昨年からはまった京都大学と吉田地域の交流により、剣鉾に参加できるチャンスを得ました。剣鉾はバランスを崩すと危険なので、十分な練習をしなければなりません。今後ともこの交流は続けていきます。

○京都大学学生(神輿や行列に参加)

昨年からは京都大学構内に行列が入ったことを機会に、私たちも相互交流として手伝っています。今後も続けたいと思います。

第2号は、京都ノートルダム女子大学心理学部・心理学研究科・心理臨床センターによる「自然と遊ぼう! 7」を掲載する予定です。